

# KAHOKU

## かほく市 議会だより



第38号



るまの米を作つきかひネ!!!

(田植え風景：指江にて)

平成25年度 一般会計予算

141億3千万円  
を可決

### CONTENTS

平成25年 第1回 定例会	2
平成24年度 補正予算など	6
一般質問 (8人が登壇)	10
常任委員会レポート	18
議員が走る	21
議会基本条例制定	22

発行日／平成25年5月1日

編集／かほく市議会広報特別委員会

発行／石川県かほく市議会

住所／石川県かほく市宇野気二11番地

E-Mail gikai@city.kahoku-ishioka.jp  
TEL (2003)7120 FAX 076(2003)7188

# 新たな市議会の議員15名

4月14日に市議会議員選挙が告示され、  
定数と同数の15名が立候補を届出した。  
その結果、無投票で15名の当選が確定した。



別宗 明敏  
当選4回 無所属  
外日角 (65歳)



猪村 博靖  
当選4回 無所属  
指江 (60歳)



寺内 照雄  
当選4回 無所属  
上田名 (62歳)



杉本 成一  
当選4回 無所属  
谷 (62歳)



竹内 幹雄  
当選4回 無所属  
高松 (60歳)



沖津 千万人  
当選4回 無所属  
秋浜 (52歳)



杉本 正一  
当選4回 無所属  
木津 (62歳)



金田 正信  
当選4回 無所属  
松浜 (63歳)



多々見 武  
当選4回 無所属  
高松 (70歳)



安達 肇  
当選3回 無所属  
宇野気 (56歳)



高橋 成典  
当選3回 日本共産党  
遠塚 (61歳)



多々見 邦次  
当選3回 民主党  
内高松 (67歳)



坂井 正靱  
当選3回 無所属  
高松 (66歳)



金子 猛  
当選2回 無所属  
白尾 (46歳)



板谷 悦郎  
当選1回 無所属  
内高松 (64歳)

氏名、当選回数、所属政党、住所、年齢の順 (5月1日現在)

### 編集後記

任期満了を控え、委員会を振り返り、委員会の振返り、委員の名の方から回答を頂いた。私たちが委員は、市民に開かれた議会を目指し、見える化、分かりやすく、親しまれる「議会だより」になれど努力してきた。その一つとして、中日新聞本社などの視察研修も行った。3千名の市民の皆様(坂井正靱委員長)に議会に関するアンケートをお願いし、805名の方から回答を頂いた。その結果も踏まえ、議員定数も自ら18名から15名に削減した。今後の議員の最高規範となる議会基本条例もこの3月議会に上程し、制定した。次号からの新メンバーに期待する。

● 次の定例会は6月です。

### 議会を傍聴しませんか

本会議・常任委員会などを傍聴できます。議会は身近なものです。どのような議論が行われているのかぜひ傍聴においでください。本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で受付順となります。

本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。



常に「開かれた議会」をめざしています。何なりとご意見をお寄せください。

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

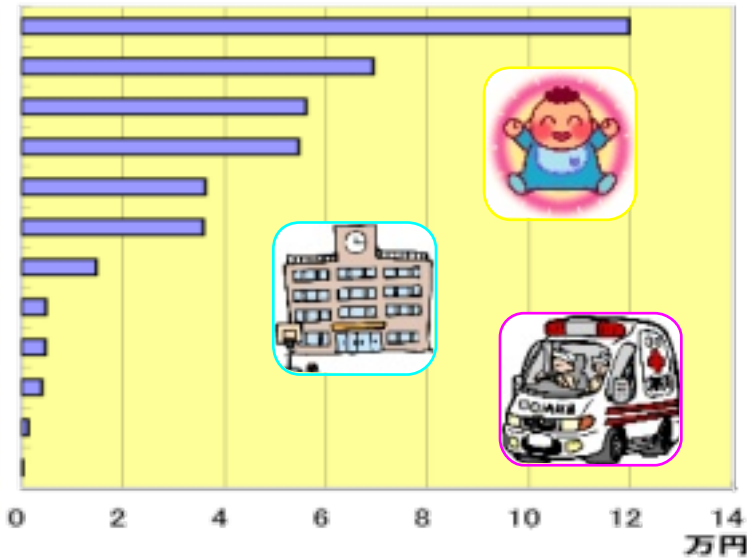
※印刷コスト 1部 34円 (発行部数 11,500部)

# 市民1人あたりの予算（一般会計）

市民1人あたりの予算額を算出してみました。

市民1人あたりの予算額(目的別)

項目	1人あたり予算額
民生費	119,715円
公債費	69,362円
総務費	56,121円
土木費	54,663円
衛生費	36,300円
教育費	35,922円
消防費	14,756円
農林水産業費	4,870円
議会費	4,791円
商工費	4,065円
労働費	1,382円
予備費	285円
全体	402,232円



人口 35,129人(2月末現在)

※住民基本台帳人口(外国人登録者数含む)

# 家計簿に置き換え（一般会計）

年間500万円支出する家庭に例え算出してみました。



区分	金額	対応する予算
給料	319万円	
うち基本給	315万円	市税、地方交付税
うち手当	4万円	地方譲与税
パート収入	13万円	使用料及び手数料 分担金及び負担金
雑収入	18万円	諸収入ほか
親からの仕送り	83万円	国庫支出金、県支出金 地方消費税交付金ほか
ローンの借入	67万円	市債
貯金の取り崩し	0万円	繰入金
収入合計	500万円	

借入金の残高 1015万円 市債残高(一般会計分)  
貯金の残高 210万円 基金残高

区分	金額	対応する予算
食費	91万円	人件費
生活費 (光熱水費、雑費)	136万円	物件費、補助費等 維持補修費
ローンの返済	86万円	公債費
家の増改築など	52万円	普通建設事業費
子どもへの仕送り	57万円	他会計への繰出金
医療・介護・教育費	73万円	扶助費
雑支出	3万円	投資及び出資金
定期預金	0万円	積立金
その他の支出	2万円	新幹線開業PR推進ファンド
支出合計	500万円	

単純に比較できない部分もありますので、参考としてみてください。

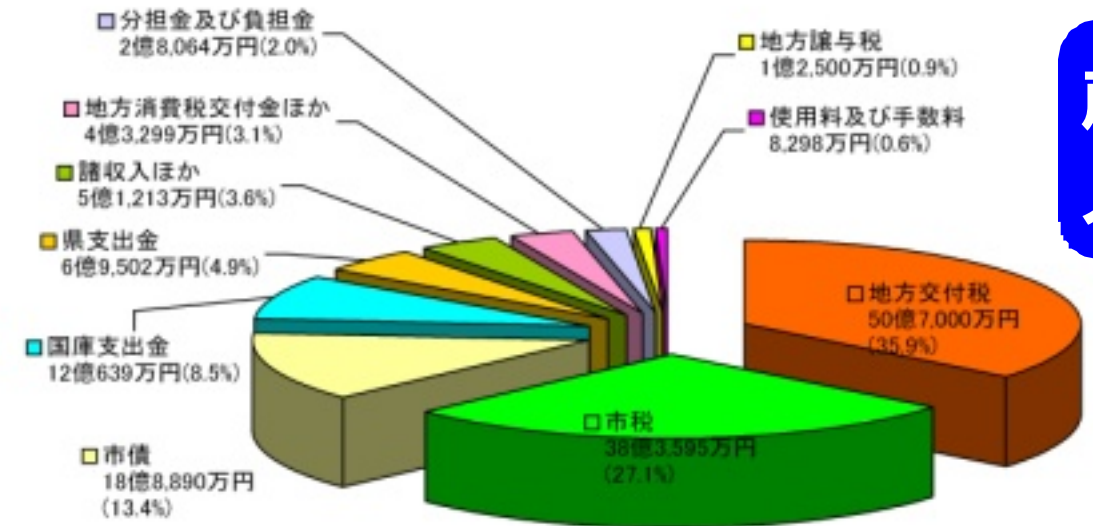
## 一般会計当初予算の推移

平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
135億8100万円	142億1000万円	162億9000万円	148億8000万円	141億3000万円

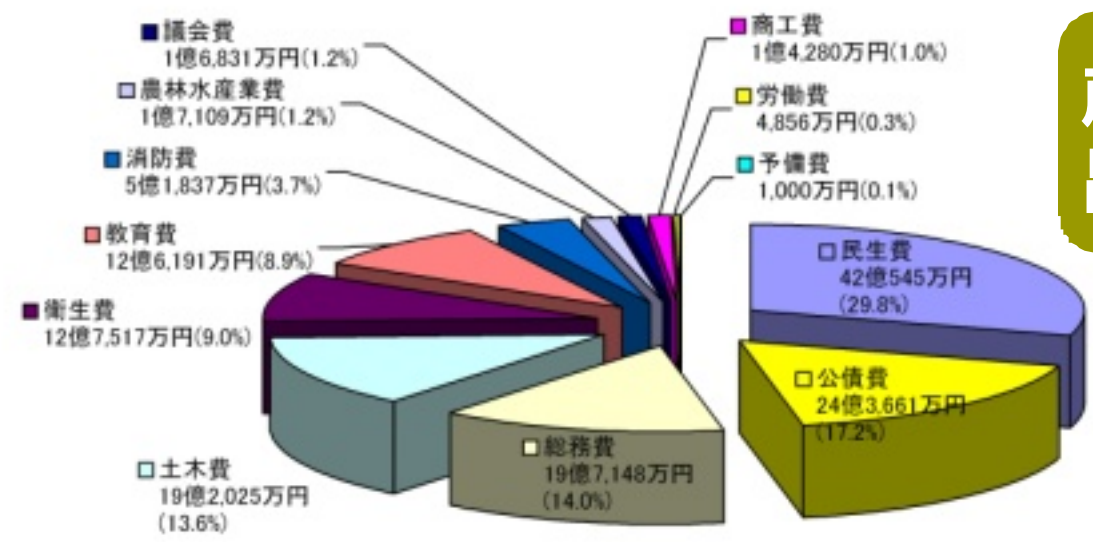
# 平成25年 第1回定例会

会期/2月25日～3月14日

平成25年2月25日から18日間の会期で第1回定例会を開催し、平成25年度一般会計予算など34議案及び、最終日提出の追加議案1件について審議し、原案のとおり可決した。  
また、教育委員の任命など同意案件2件についても原案のとおり同意した。



歳入



歳出

平成25年度一般会計予算  
141億3千万円の内訳

## 特別会計予算

市営バス特別会計	1,736万円	後期高齢者医療特別会計	3億2,200万円
墓地特別会計	1,397万円	介護保険特別会計	27億500万円
ケーブルテレビ事業特別会計	9,700万円	大海財産区特別会計	350万円
国民健康保険特別会計	39億2,000万円	下水道事業特別会計	20億4,100万円
		合計	91億1,983万円

## 水道事業会計予算

収益的収入	6億2,118万円	資本的収入	2億6,548万円
収益的支出	5億9,229万円	資本的支出	4億7,555万円

## 平成25年度重点施策（新市計画の総仕上）

### 一、新たな10年に向けた地域活性化への取り組み

- 若者マイホーム取得奨励金の助成 **4千500万円**
  - ・市内に住宅を新築・購入する45歳未満の方に対して奨励金を助成。
- 新婚さん住まい応援事業の実施 **1千505万円**
  - ・40歳未満の新婚世帯で市内の賃貸住宅に住む場合、賃貸料の一部を助成。
- 能登有料道路無料化、北陸新幹線開業に向けた取り組み **3千100万円**
  - ・新幹線開業PRファンドへの貸付県並行在来線運行支援基金への出資、能登有料道路無料化記念事業への協賛。
- かほく市制10周年記念事業の実施 **1千605万円**
  - ・記念式典、記念切手・年賀ハガキの作成及び市制施行記念継走大会と併せた陸上教室の開催などの10周年記念事業を実施。
- 西田幾多郎記念哲学館を核とした情報発信 **286万円**
  - ・学習まんが「西田幾多郎」の作成。大学（首都圏）への哲学館PR活動。
- 下水道のマンホール蓋を活用したPRツールの整備 **156万円**
  - ・市街地の老朽化したマンホール蓋を企業等が広告できる蓋に更新し企業及び地域の情報提供ツールを整備。
- 特産品開発支援補助金の創設 **200万円**
  - ・独自の特産品開発に係る費用等に對し助成。
- 新規創業者への支援補助の実施 **217万円**
  - ・市内での新規創業者に対し、創業費用の一部の補助及び借入金の子の1%を2年間補助。
- ほ場整備の促進（県事業負担金等） **2千985万円**
  - ・担い手育成基盤整備事業を3地区で実施。
- 地域活動助成金の創設、地域づくり人材の育成 **220万円**
  - ・地域活動事業の一部を助成することにより、地域活動を支援する。地域活動をリードする人材を育成。

## 子育て支援・市民の健康増進

### 三、子育て環境の充実と安心して暮らせるまちづくり

- ◎市立保育園の運営における子育て支援の拡充 **8億3千162万円**
  - ・老朽施設の更新及び運営の効率化から12園を、統廃合により10園として運営。
  - ・ゼロ歳児（2ヶ月児）保育の拡充。病後児保育の拡充。
- ◎児童保育の拡充 **4千909万円**
  - ・外日角児童保育クラブを2クラブ化し、きめ細かな児童保育を実施。
  - ・多子世帯への児童保育料の軽減を実施。
- ◎任意予防接種助成の拡充 **674万円**
  - ・従来の任意予防接種の助成に加え、おたふくかぜ・水痘のワクチン接種を追加。
- ◎成人等検診事業の拡充 **5千365万円**
  - ・妊婦健診、産婦健診、乳幼児健診を引き続き実施。
  - ・子宮頸がん検診に新たにHPV検査を追加。
  - ・胃がん検査にABC検診を導入し胃がんの早期発見に努める。
- 35人以下学級の拡充 **724万円**
  - ・市独自に小学5年生の35人以下学級を導入。
- スクールバスの更新 **2千万円**
  - ・スクールバス「新化号」の更新。
- 地域での健康なまちづくり事業の展開 **290万円**
  - ・地域で健康相談や健康教育を実施するコミュニティカフェを開設。また、ウォーキングマップを作成し市民の健康増進を図る。
- ◎地域介護予防活動支援事業の実施 **187万円**
  - ・地域での介護予防拠点を3箇所から6箇所拡充し、より身近なサロンづくりの動機づけとする。
  - ・右記の拠点づくりでのリーダーを養成し、自主活動を促進する。
- 保健衛生普及事業の推進 **659万円**
  - ・後発医薬品差額通知等により後発医薬品を普及啓発する。
  - ・人間ドックを推進し病気の早期発見、早期治療につなげる。
- ◎福祉巡回バス路線の拡充 **1億7千200万円**
  - ・「道の駅・高松」のリニューアルにあわせ、福祉巡回バスの路線を延長し、市民がより利用しやすい環境を整える。

## 防災・再生可能エネルギーの利活用

### 二、防災対策の強化と環境施策の拡充

- 学校防災マニュアルの作成 **16万円**
  - ・各学校ごとに防災マニュアルを作成し、災害時への対応に備える。
- ◎自主防災組織の活動支援の実施 **861万円**
  - ・防災士被服購入貸与、市独自の防災士研修を実施。
  - ・防災士育成研修費の助成、自主防災組織活動の補助などを実施。
- 防災行政無線テレビホンサービスシステムの構築 **289万円**
  - ・防災行政無線の放送内容を電話により音声で自動案内するシステムを整備。
- 雨水対策事業の実施 **1億7千422万円**
  - ・下水道事業における雨水対策に伴う雨水ポンプ場を整備。
- マンホール液状化対策の実施 **480万円**
  - ・県指定の緊急輸送路（大崎・内日角地内）において下水道マンホール液状化対策の設計委託を実施。
- マンホール液状化対策の実施（内日角地内） **480万円**
  - ・県指定の緊急輸送路（大崎・内日角地内）において下水道マンホール液状化対策の設計委託を実施。
- ◎再生可能エネルギーを活用した設備の設置補助を拡充 **750万円**
  - ・従来の太陽光発電設備の補助拡大に加え、風力発電、ペレットストーブ、薪ストーブ及び太陽熱設備に對しても補助を実施。
- ◎地域環境ポイント制度の拡充 **135万円**
  - ・従来のものに加えて、ダンボールコンポストの取り組みについてもポイントを加算。
- 老朽化している市営住宅入居者の住替えの推進 **300万円**
  - ・市営住宅老朽化にともなう入居者の住替えを推進する。
- 緊急車両の更新整備 **3千600万円**
  - ・高規格救急車を更新。
- 再生可能エネルギーを活用した照明設備の整備 **400万円**
  - ・風力と太陽光を利用したLEDハイブリッド太陽灯を2箇所設置し、再生可能エネルギーの普及啓発を実施。

## 将来へ向けた持続可能な発展策

### 四、公共施設の再編と社会基盤の整備

- 生活支援道路の整備 **2億円**
  - ・生活支援道路の維持修繕（地区要望分）
- 消防施設の整備 **1千507万円**
  - ・防火水槽移設や有蓋化を実施。
  - ・消防設備整備（5地区、ホース等）を実施。
- 市道舗装補修の実施 **2千500万円**
  - ・市道笠島7号線、森4号線道路の舗装補修を実施。
- 旧高松庁舎、旧七塚庁舎、旧七福神センター解体設計・調査の実施 **578万円**
  - ・高松庁舎の行政機能を産業文化センターに集約するとともに、庁舎等跡地の利活用を図る。
- 高松多目的公共施設整備 **2億6千934万円**
  - （平成24年～平成25年）
  - ・高松社会福祉センターの改築及び高松産業文化センターの改修。（平成25年12月完成予定）
- 給食センターの設備更新 **6千500万円**
  - ・第1及び第2給食センターの厨房設備等の更新を実施。
- 公園運動施設の再整備 **4億827万円**
  - ・高松多目的競技場、高松野球場及び金津ソフトボール場の整備を実施。
- 公共施設の長寿命化計画策定 **308万円**
  - ・アクロス高松及び西田幾多郎記念哲学館の長寿命化基本計画を策定。
- 公園施設の整備 **1億7千200万円**
  - ・高松運動公園内の再整備や既存の公園施設を更新改修し、あわせて旧保育園跡地を都市公園として整備。



改築中の高松多目的公共施設

国の緊急経済対策に伴い  
大型補正予算を可決

歳入歳出、それぞれ11億6千760万円を増額するもの。

歳入の主な内容

- 市税
  - 市民税5千900万円、市たばこ税983万円を増額。その他10万円を増額。
- 固定資産税5千280万円、都市計画税1千100万円を減額。
- 地方交付税
  - 普通交付税4億3千700万円を増額。
- 分担金及び負担金
  - 担い手育成基盤整備事業 地元負担金150万円を増額。
  - 学童保育料450万円を減額。
- 国庫支出金(国から)
  - 障害者自立支援給付費負担金353万円、道路橋りょう費補助金1億5千150万円、住宅費補助金4千839万円、学校教育施設環境整備事業費補助金300万円、その他95万円を増額。
- 県支出金(県から)
  - 障害者自立支援給付費負担金150万円、園芸産地拠点施設等整備事業費補助金3千円、経営体育成支援事業費補助金300万円、その他95万円を増額。
- 国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)
  - 国民健康保険基盤安定負担金614万円、後期高齢者医療保険基盤安定拠出金147万円、障害児発達支援事業負担金450万円、宇ノ気体育センター耐震補強事業負担金4千880万円、まちかど交流館耐震整備事業負担金4千880万円、宇ノ気老人福祉センター耐震補強事業負担金1千240万円、道の駅整備事業負担金7千500万円を増額。
- 衛生費
  - 子ども医療費助成事業500万円、母子保健事業185万円、上水道事業支出金9千650万円を増額。
- 農林水産業費
  - 農業振興対策事業3千867万円、担い手育成基盤整備事業450万円、河北潟干拓地維持管理事業1千890万円を増額。
- 農工商費
  - まちかど交流館管理運営事業1千862万円、商業振興対策事業300万円、観光振興対策事業1億3千700万円を増額。
- 土木費
  - 道路橋りょう維持管理事業800万円、道路橋りょう新設改良事業3千300万円、道路環境整備事業1億2千200万円を増額。
- 総務費
  - 基金積立金5億676万円、ケーブルテレビ電柱支障移設委託料225万円、その他76万円を増額。
- 民生費
  - 障害者自立支援給付費741万円、老人福祉施設管理費5千228万円、保育園一般管理費112万円、その他52万円を増額。
- 歳出の主な内容
  - 震整備事業4千880万円、まちかど交流館耐震整備事業1千240万円、道の駅整備事業7千500万円を増額。
- 歳入
  - 光ケーブル移設補償金30万円を増額。
  - 市債(借入金)
    - 臨時財政対策債7千820万円、老人福祉施設整備事業債3千350万円、災害対策事業一般会計出資債9千650万円、担い手育成基盤整備事業債300万円、河北潟干拓地設備改修事業債1千880万円、雪害対策事業一般会計出資債50万円、除雪対策事業債800万円、外日角小学校耐震補強事業債1千160万円、高松体育センター耐震整備事業債4千780万円、宇ノ気体育センター耐震整備事業債4千880万円、宇ノ気体育センター耐震整備事業負担金4千880万円、まちかど交流館耐震整備事業負担金4千880万円、宇ノ気老人福祉センター耐震補強事業負担金1千240万円、道の駅整備事業負担金7千500万円を増額。

特別会計

- ◆国民健康保険特別会計補正予算 (第1号)
  - ◆後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)
  - ◆介護保険特別会計補正予算 (第2号)
  - ◆下水道事業特別会計補正予算 (第4号)
- いずれも決算見込みによる精算補正が主なもの。  
(以上4件、全員賛成)

事業会計

- ◆水道事業会計補正予算 (第2号)
- 決算見込みによる精算補正するもの。  
(全員賛成)

専決処分

- 一般会計補正予算 (第7号)
- 除雪経費1千万円を増額するもの。  
(全員賛成)

(全員賛成)

教育費

- 小学校総合管理費1千385万円、高松小学校整備事業870万円、外日角小学校整備事業1千662万円、中学校総合管理費1千120万円、体育施設整備事業1億2千300万円、第2学校給食センター管理運営事業115万円、その他195万円を増額。

耐震補強工事が行われる「まちかど交流館」



耐震補強工事が行われる「宇ノ気老人福祉センター」



耐震補強工事が行われる「高松体育センター」



条例制定

- 市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定
- 市道における舗装や排水施設などの構造に係る技術的基準を、利用者の安全性の確保を大前提に、現行の道路構造令を基に制定するもの。

条例改正

- 情報公開条例の改正
  - 生活安全条例の改正
- 国の国有林野事業特別会計において、企業的に運営してきた国有林野事業が国営企業でなくなることから、国が経営する企業が存在しなくなるため、当該条例中の非開示情報に係る語句の整理を行うもの。  
(以上3件、全員賛成)

- 移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定
  - 高齢者などが道路を円滑に移動する際の歩道幅員や勾配などの基準を定めるため、新たに制定するもの。
  - 新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
  - 政府対策本部から新型インフルエンザ等緊急事態宣言が発令された際、市の行動計画の定めるところにより、直ちに市のインフルエンザ等対策本部を設置する必要があるため、その設置に関し必要な事項を定めるもの。
  - 生活安全条例の改正
  - 犯罪行為により不慮の死を遂げた方の遺族や負傷者に対し、新たに犯罪被害者等見舞金制度を創設するなど、所要の改正を行うもの。
  - 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例及び市障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の改正
- 条例中で引用している「障害者自立支援法」の名

# 質疑・討論

第1回定例会において提出された議案・発議に対し、3議員が賛成、反対の討論を行なった。

## 平成25年度当初予算に対して

### 反対討論

一般会計予算・後期高齢者医療制度の2件に  
反対

高橋成典議員

ごみのステーション化未実施住民に対する協力金、年2千円は条例にもない。津幡町や内灘町では徴収していない。徴収に反対である。

市後期高齢者医療特別会計予算は、お年寄りを差別する制度で世界に例がない。同制度は県の広域事業であり、市独自の対策がとれない。

75歳で高齢者を差別する制度の根幹は温存され、高齢者の人口増・給付費増に応じて保険料が跳ね上がる、自動値上げの仕組みが組み込まれている。

日本共産党は、後期高齢者医療制度という差別医療を廃止し、老人保健制度に戻し、国保の財政負担を国が補填することを提案している。

この議案に反対である。

### 賛成討論

全議案に賛成する

遠田順議員

平成25年度当初予算及び緊急経済対策を受けた補正予算は、合併特例期間最後の節目であり、総仕上げの予算として位置づけられている。

一つに「新たな10年に向けた地域活性化への取り組み」では定住促進策の充実を見据えた内容。二つに「防災対策の強化と環境施策の拡充」では震災など大災害発生に対する安全への備えを強化し環境へも配慮した内容。三つに「子育て環境の充実と安心して暮らせるまちづくり」では新たな施策や制度拡充を盛り込み、子どもたちの環境の充実や健康増進と生活支援。

四つに「公共施設の再編と社会基盤の整備」では社会基盤の10年目としての整備など、提案された予算については、十分に考慮された内容でありバランスのとれたふさわしい内容であると納得し、賛成する。

### 賛成討論

全議案に賛成する

猪村博靖議員

今議会上程された全議案に賛成する。

その上で、高橋議員の反対討論、特に後期高齢者医療制度の否定について反論する。

この制度は国会において審議の上、制度化されたものであり、法令、政令、省令、条例に基づいて運営されているものである。

石川県でも全市町が参加して組合、議会を構成して運営している。

日本共産党が認めないからと、具体的反論、提言もせず、市を批判するのは見当違いも甚だしい。

討論の中で「差別」という言葉が使われたが、誠に遺憾である。

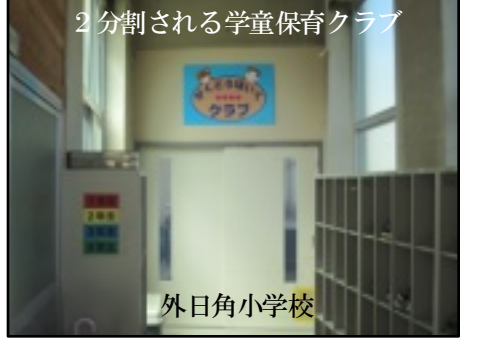
「差別」と「区別」は全く別である。

高齢者の皆様に対する侮辱にもなりかねない。

議員として意見を求める。



内日角保育園と大崎保育園が統合した「みずべ保育園」



2分割される学童保育クラブ

外日角小学校

称が「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」に改正されるため、所要の改正を行うもの。

**○社会教育委員設置条例の改正**  
社会教育法に基づく社会教育委員の定例会議を、教員が必要に応じて開催することに改正を行うもの。

**○体育施設条例等の改正**  
将来に向けた効率的な施設管理を行うため、新たに照明利用料金を設定するなど、所要の改正を行うもの。

**○保育所条例の改正**  
「(仮称)七塚北部保育園」を「はまなす保育園」に、「(仮称)宇ノ気南部保育園」を「みずべ保育園」とし、併せて緑ヶ丘保育園、大崎保育園及び内日角保育園を廃園とするもの。

**○学童保育クラブ条例の改正**  
同一施設内で第一クラブと第二クラブに分割し、適正な規模でのクラブ運営を実施するため、所要の改正を行うもの。

**○デイサービスセンター条例の改正**  
サービス提供の時間区分の見直しに伴い、デイサービスセンターの利用時間を1時間延長して、午前9時から午後5時までとするため、所要の改正を行うもの。

**○介護保険条例の改正**  
介護認定審査件数の増加に伴い、委員の定数を20名から25名に変更し、委員の負担軽減を図るとともに、適切な認定審査を実施するもの。

ため、所要の改正を行うもの。

**○商工業振興条例の改正**  
常時雇用の従業員数をこれまでの「3人以上」から「2人以上」に条件を緩和するとともに、助成限度額を「1億円」から「2億円」に引き上げるもの。

**○産業文化センター条例の改正**  
(仮称)高松多目的公共施設増改修工事の増築部分の完成に伴い、センター内の大ホールなどの施設使用料を新たに定めるもの。  
(以上11件、全員賛成)

### 同意

**○固定資産評価審査委員会の委員の選任について**  
竹中藤藏氏(高松)

**○教育委員会の委員の任命について**  
松井三枝子氏(内日角)  
(以上2件、全員賛成)

**その他**

**○市町村消防団員等公務災害補償等組合規約の変更**  
**○市町村消防賞じゅつ金組合規約の変更**  
組合の構成団体である「七尾鹿島広域圏事務組合」の構成団体の変更を行うもの。  
(以上2件、全員賛成)

**○公の施設の指定管理者の指定**  
4月より、「道の駅・高松」里山館と里海館の管理者に「株式会社高松レストハウス」を指定するもの。  
(全員賛成)

**○工事請負契約の変更**  
(仮称)高松多目的公共施設増改修工事(建築)3億4千125万円を3億5千500万円に変更。  
(全員賛成)

**議会条例等**

**○市議会基本条例の制定**  
開かれた議会を目指すために、議会及び議員の活動の原則等の基本的事項を制定するもの。

**○市議会委員会条例の改正**  
議員定数条例の改正に伴い、常任委員会の構成、名称及び委員の定数等を変更するもの。

**○市議会会議規則の改正**  
市議会基本条例の制定に伴い、一般質問を行う際、すべて一問一答方式で行うもの。  
(以上3件、全員賛成)

質問2 Q&A

田園風景をロケ地としてPRすべき

関係機関と連携を密にし、情報発信していく



質問1 Q&A

海岸侵食対策を急げ

県に対して人工リーフの設置を強く要望する

油野市長 海岸線に沿って日本海の波打ち際を眺めながら通行することが出来るが、県内唯一の区間であるが、指摘のとおり本市の海岸全体において侵食が進行し、場所によっては能登有料道路に迫る所まで、海岸がなくなっている状況である。県は「千里浜再生プロジェクト委員会」を立ち上げ、金沢港の浚渫土砂を投入し、海流に乗せて運ぶことを試

質問1 道の駅高松がリニューアルされ、3月31日オープン予定である。夕日が眺められるようにサンセットデッキが設けられるが、夕日を眺める絶好のポイント、白い砂浜があり、その場所から海に沈む夕日を見られることが必須条件である。日本海に沈む夕日は白砂青松が絵になるが、侵食された砂浜では絶景の景色も半減する。人工リーフの増設も含め、海岸侵食対策を県に強く要望せよ。



絶景!! (撮影 金谷光男氏)

県内で映画やロケ地紹介の窓口ともいえる「金沢フィルムコミッション」の情報によると、これらのロケや撮影協力の問い合わせの多くは、金沢の昔ながらの街並みや伝統文化といったイメージが強いが、志賀町福浦港のように小さな漁師町のイメージがマッチングした場合もあるので、市としても「金沢フィルムコミッション」や石川県などの関係機関との連携を密にして、市全体を含めた情報発信を常日頃から行い、かほく市で映画撮影をしたいという需要があれば、全力を挙げて応援する。

質問2 里山館では、公衆高速無線LANや電気自動車の充電スタンドも設置され、のと里山海道を利用する方たちには大変便利になると思う。しかし、この道路に面している各自治体は、通行量が2倍から3倍になると想定し、その人たちをどのようにして街の中に取り込み、活性化に繋げるか競って

ランを練っている。当市ののどかな田園風景もすばらしいものがあり、映画のロケ地になれば活性化にも繋がる。関係機関を紹介するなど応援すればどうか。市長 田園風景をロケ地として応援できないかとのことだが、話題性のある映画を誘致することが出来れば、観光や経済に大きな効果があると考えている。

質問2 Q&A

事務処理マニュアルの整備状況を示せ

平成25年度にはすべてのマニュアルを完成予定



質問1 Q&A

最終年度の正規職員予定数を示せ

347名とする

質問1 第二次かほく市定員適正化計画最終年度(平成26年4月1日)の正規職員の予定数を示せ。特別職、正規職員、臨時職員、嘱託職員、議員の合併時との人件費の比較を問う。市長 平成16年4月427名であった職員数は、平成26年4月1日時点では、347名とする予定である。正規職員、臨時職員、嘱託職員合わせての削減による効果額は、平成16年度から平成25年度までで、27億7千万円余り。特別職の人件費と議員報酬の25年度までの削減効果は、16億3千万円で、削減効果は総額40億円超えとなる。

質問2 業務の効率化と簡素化を図るための事務処理マニュアルの整備状況を示せ。市長 作成が必要な650項目のうち、平成25年2月末現在で、532項目が作成済みである。平成25年度早々にはすべてのマニュアルの作成を完了したい。これにより、職員のレベ



第2次 かほく市定員適正化計画及び行政改革(実施計画)



質問3 中期財政計画策定の進捗状況と長期財政計画についてどのように考えているか。市長 平成25年から5ヶ

年を期間とする中期財政計画を議会最終日に説明する。平成29年度時点で、実質公債費比率は8%程度、将来負担比率は40%を下回る水準を想定している。長期財政計画については、『第一次かほく市総合計画』が平成27年度までのものであり、新たに平成28年度からの10年間の計画として策定したい。

質問3 Q&A

七窪の雇用促進住宅も市が取得せよ

間取り2Kで新たな入居者のニーズに合わない



質問2 Q&A

高校生などの通学費に補助をせよ

育英基金で月8千円を支給している

質問4 Q&A

理科学習を充実せよ

課外学習や体験学習を充実させる



質問1 Q&A

道の駅高松の産直販売の具体的構想はできたか

4月オープンを目指し、着々と進んでいる

育英基金として一人当たり月額8千円を支給している。高等学校・高等専門学生に、成績優秀、経済的理由により修学困難な方に、育英基金として一人当たり月額8千円を支給している。

市独自の小中学生への教育費補助制度を実施せよ。高校生・専門学校・大学生などの通学費補助を実施せよ。

質問2

国の生活保護基準の引き下げに反対せよ。油野市長 政府は、生活保護の基準額引き下げに伴い、就学援助費など他の生活支援制度にできる限り影響を及ぼさないとしている。今後、国の動向を注視する。

質問1

販売ノウハウ、商品の充足については、「J A ターリン」に教授をお願いしている。商品の安全面でも、使用農薬、肥料の栽培記録で管理するなど、J A からご指導をいただく。今回、上程した「かほく市特産品開発支援事業」も活かすことができるよう、市商工会と連携を図る。

販売ノウハウ、商品の充足については、「J A ターリン」に教授をお願いしている。商品の安全面でも、使用農薬、肥料の栽培記録で管理するなど、J A からご指導をいただく。今回、上程した「かほく市特産品開発支援事業」も活かすことができるよう、市商工会と連携を図る。

質問1

能登有料道路の無料化を控えて、「道の駅・高松」のリニューアルが進められているが、産直販売の具体的な構想は確定したのか。販売のノウハウ、商品充足、安全面の対策等はどうか。油野市長 今回のリニューアルにより、繊維製品と農産物販売のスペースを一体化するとともに、店舗前面に設置し、これまで以上に拡充、PRする。農産物については、かほく市ブランド6品目は勿論、市内で生産される野菜果物を販売していただける直売会員を募集しており、現在24名の方々に登録いただいている。

質問2

地域活動の拠点である既設公民館の空調設備設置に補助をせよ。地域活動の拠点であり、防災拠点としても公民館の重要度は増している。現在、冷暖房設備の設置については新設のものにしか認められていない。既存の公民館についても補助すべきである。市長 改めて補助基準の見直しや新たな支援制度の導入も検討したが、これまでの経緯も踏まえ、行政施策の一貫性、公平性から困難である。

質問3

耕作放棄地、減反地を活用する太陽光発電の可能性を問う。再生可能エネルギーが重要視されているが、ある程度の電力量を得るためには広大な敷地が必要となる。耕作放棄地や減反地を利用した太陽光発電を提言するが、どうか。市長 市では昨年7月から再生可能エネルギー導入の検討を重ね、太陽光、風力発電が実用的との結論を得た。提言の耕作放棄地、減反地はかなり存在するが、点在しており集約が困難である。発電事業の採算性を考慮すると難しい。農地に関する法律もあるが、農業分野での発電の可能性については引き続き検討していく。

質問4

小中学校における理科学習を充実せよ。小中学校の理科授業、特に天体、宇宙に関する授業の実態はどうか。当市には県内有数の望遠鏡を有する施設もあるが、有効活用されていないのでは。市長 小学校3年で6時間、4年生で9時間、中学校3年生で20時間となっている。ほかにも校外学習や体験学習も実施している。天体望遠鏡については「かほく市星の会」とも相談させていただき、一層の有効利用を図っていく。



七窪の雇用促進住宅

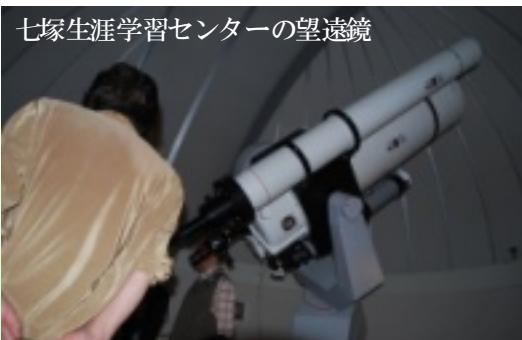
市は、戸建て市営住宅を廃止し、その代替え先として市内3カ所の雇用促進住宅のうち、宇気と高松の2カ所を取得する。なぜ、七窪の雇用促進住宅を取得しないのか。2月22日、同自治会の入居者が83人分の署名と要望書を市に提出した。入居者には高齢者も多く、住み慣れた場所を離れることに不安を抱く人も多い。

質問3

市は、戸建て市営住宅を廃止し、その代替え先として市内3カ所の雇用促進住宅のうち、宇気と高松の2カ所を取得する。なぜ、七窪の雇用促進住宅を取得しないのか。2月22日、同自治会の入居者が83人分の署名と要望書を市に提出した。入居者には高齢者も多く、住み慣れた場所を離れることに不安を抱く人も多い。

質問4

市は、以前に灯油の高騰を受けて福祉灯油を実施したことがある。低所得者や高齢者、障害者世帯、福祉施設などの灯油購入に支援する福祉灯油を実施せよ。森田市民部長 福祉灯油の実施は考えていないが、今後、灯油価格が更に高騰した場合には、国、県からの支援策の有無や、県内市町の支援対策の実施状況を踏まえた上、検討する。



七塚生涯学習センターの望遠鏡

質問2 Q&A

管理台帳作成は  
どうなったか

各種管理台帳は  
すでに完成して  
いる



質問1 Q&A

地場産業の振興  
と育成を目指せ

地場産業に接す  
る機会を与えたい

**Q** 市内には、世界的規模の企業も含め、繊維、鉄工、機電などの二次産業が数多くある。  
**A** 日本一、県一の職種もあり地場産業として頑張っている。そのことを知ってもらうための資料、冊子、データを市内の学校に配置し、社会科または課外授業に活用してもらおうと同時に、工場見学を推奨できないか提案する。  
**Q** 重点施策の新たな10年に向けた地域活性化への取組みとして、子ども達が地場産業を学ぶことで、人材確保、後継者の育成に繋がる可能性が増すと思うが、教育委員会の考えはどうか。  
**A** 遠田教育長 学習指導要領では小学校3・4年生を対象に、社会科の項目に、「身近な地域の人々の工業製品などの生産に関する仕事」として、地域の生産や販売に関する仕事を見学したり、調査するよう定められている。



子ども会の工場見学

**Q** 市内には、世界的規模の企業も含め、繊維、鉄工、機電などの二次産業が数多くある。  
**A** 日本一、県一の職種もあり地場産業として頑張っている。そのことを知ってもらうための資料、冊子、データを市内の学校に配置し、社会科または課外授業に活用してもらおうと同時に、工場見学を推奨できないか提案する。

を立て、課外活動を実施している。  
今後、地場産業に関するパネルや、製品の現物も校内に展示していきたい。  
工場見学については、いろいろな課題を整理しながら、児童生徒が市内の産業に接する機会を与えたい。

**Q** 以前に提案した市が管理するカーブミラーや案内看板の管理台帳作成（データ化）の進捗状況を示せ。  
**A** 森田市民部長 施設の案内看板と避難誘導看板および、地区の案内看板は、既存の看板も含め、新たに設置の際に管理台帳に登録している。  
また、カーブミラー（749基）を地区別に3冊に、防犯灯（5280基）については地区別に11冊にまとめ台帳作成は、すでに完了している。

今後、適切な維持管理を行う上で、各台帳の更新を随時行っていく。

質問2 Q&A

学校給食の食物  
アレルギーの対応をしめせ

できるだけ  
の対応はしている



質問1 Q&A

高齢者の交通事故  
防止対策を実施せよ

緊急に事故防止  
対策を行っている

**Q** 市街頭交通推進隊による街頭指導や、関係諸団体に協力をいただき、事故抑止対策を実施していく。  
**A** 交通安全対策会議及び津幡警察署や、道路管理者との連携を図り、必要な箇所の現地踏査をおこなっており、能登有料道路でも、逆走防止対策を実施していく。

**Q** 昨年、交通事故の件数は河北郡市で、当市が最多だった。  
**A** 道路の逆走防止を含めた対策を示せ。  
**Q** 油野市長 高齢者の交通事故の主な原因は、集中力、判断力の低下や、また視力の衰えや、視野が狭くなることによる安全確認の低下が挙げられる。  
対策としては、運転免許証を更新する際には、技能講習を義務付けている。  
また津幡警察署員による交通事故防止講習も実施している。



進入禁止看板が設置された看護大学インター



**Q** 市内の老人クラブ24団体が「高齢者無事故運動」に参加し交通安全知識を高めている。  
**A** 市街頭交通推進隊による街頭指導や、関係諸団体に協力をいただき、事故抑止対策を実施していく。

**Q** 市内の小中学校児童で病状の重いアナフィラキシーに発するおそれのある生徒は何人いるのか。  
**A** 遠田教育長 配慮を行っている児童生徒は28人であり、アナフィラキシーを発するおそれのある児童生徒は6人である。  
給食時に食べられない物がある場合は、担任の指導により、本人が取り除くこととしている。  
また、保護者が調理して持参する事もお願している。  
毎月詳細な献立表に代替一覧表を添付し、保護者と

**Q** 市内の小中学校児童で病状の重いアナフィラキシーに発するおそれのある児童生徒は何人いるのか。  
**A** 遠田教育長 配慮を行っている児童生徒は28人であり、アナフィラキシーを発するおそれのある児童生徒は6人である。  
給食時に食べられない物がある場合は、担任の指導により、本人が取り除くこととしている。  
また、保護者が調理して持参する事もお願している。  
毎月詳細な献立表に代替一覧表を添付し、保護者と

学校担任に確認を行っている。  
平成24年4月から1個ずつ包装した、ふりかけ、ジャム、デザート類に関するのみ、代替品の提供をおこなっている。  
現状では、すべての代替食品の提供は非常に難しい。



質問1b Q&A

合併の総括を求める

合併は成功だったと信ずる



質問1a Q&A

市の将来像と展望を示せ

安全で安心なまちづくりに向けて取り組む

平成17年度の「第1次かほく市総合計画」を基本に、河北台中学校、宇ノ気中学校の新築、高松中学校の耐震化、大海保育園の開園をはじめとして、合併時の19保育園を10園に統合し、ゼロ歳児保育の実施など、子育て支援の充実を図った。

「全国住みよさランキング調査」で18位の評価をつけた。平成の大合併における県内第1号として市民の理解と支援の賜ものと認識している。

油野市長 市長に就任して以来、基本理念の『海とみどりに抱かれた「やすらぎ」と「うるおい」のあるまち』の実現、市民の融和地域バランスと発展に奔走した。

質問1 かほく市誕生から10年目を迎え、本市は着実に発展してきたと実感している。合併の総括と、めざすべき将来像、今後の展望について説明を求める。



第1次かほく市総合計画にて新築した河北台中学校

地域活性化では、大型商業施設など企業誘致、若者マイホーム取得奨励金制度などの定住促進対策、安全・安心対策では、防災行政無線、防災士の育成、ケーブルテレビの開始、公共施設の耐震化などに取り組んだ。看護大インターのフルインター化、国道159号津幡バイパスの4車線化など、インフラについても整い、財政も健全化の方向に進んでいる。

合併の総括として、皆様

の協力により、誇れる市になりつつあるのではないかと思います。

将来像では、26年度以降、地方交付税減額、社会保障費の負担増、市債の償還など、厳しい財政状況が想定されるが、選択と集中により、住みよさを実現できる、安全で安心なまちづくりに向けて取り組む。

質問2 Q&A

PM2.5についての対策を示せ

防災環境対策室にて対応する



質問1 Q&A

全国大会出場の監督・コーチにも助成せよ

関係団体と協議し検討する

油野市長 市防災環境対策室において、国・県の監視体制の動向をしっかりと注視し、具体的な内容や情報が見えれば、市民に對し、迅速に注意を促していくよう準備を整えていく。

質問2 中国からの飛来が懸念されている微小粒子状物質\*（注）「PM2.5」について何か対策を考えているか。

遠田教育長 スポーツ少年団やクラブパレットの選手たちが、全国大会などに出場する際の宿泊費などに対しての支援については、他市町の状況を踏まえ、関係団体とも協議した上で、今後、検討していきたい。

質問1 スポーツ少年団やクラブパレットなどに所属している選手が全国大会へ出場する際、個人競技の場合、監督・コーチ派遣費の助成はできないか。

質問1

質問3



石川県代表チーム16名の内、河北台キッズの女子4名、宇ノ気クラブの男子2名。全日本選手権（出雲市）へ出場したソフトテニス石川県チーム

質問3 全国で増え続ける空き家を適正に管理するため、各県で相談窓口を設け、ネットワーク化された。現在、市内に空き家はどれくらいあるのか。

市長 具体的に把握していない。平成25年度において空き家の実態調査を実施する予定である。また、調査を踏まえ空き家バンク制度の更なる推進と相談窓口が県にも整備された際は、連携も密にし、空き家管理における課題の改善に向けてしっかりと対応する。

市長

合併して10年目のスタートに際し『かほくブランド』として、新たな「かほく市特産品」の企画を考えて見てはどうか。また、ご当地食材を生かしながら内容の充実を図り、これまで以上にかほく市の食のイベントとして定着させるよう事業を展開していく。

※「PM2.5」とは 大気中を浮遊する直径2.5マイクロメートル（≒0.0025mm）たとえば、髪の毛の断面の30分の1。スギ花粉よりも小さい物質で高齢者や子どもにとっては、基準値に達しなくても注意が必要だとされており、肺の奥に入り込み、肺がんのリスクを増加させるなど、いろいろと健康への影響が懸念されている。

# 総務常任委員会

## 高松多目的公共施設に

### 2億5千570万円計上

#### おもな質疑

(所管事項含む)

杉本委員

10周年記念事業で記念品を5千500名分見込んでいたとの説明であったが、どのようにして人数を算出したのか。

山口企画情報課長

各種スポーツ大会などの参加者数を想定した。

金田委員

昨年、一般質問で合併特例債の残高が10億円ほどであり、残りは使う予定がないとの答弁であったと思うが、私の勘違いか。

坂本総務部長

そのような答弁をした記憶はないが、合併特例債に関しては、最初から使い切る予定であった。

金田委員

スポーツ婚活の効果はどう評価するか。

#### 審査の結果

多々見副委員長

を求める。

企画情報課長

並行在来線への出資金は県全体で30億円、県が15億円、市町が15億円で、関係市町が25年度から37年度まで負担する。

金額の割り振りは、利用度の関係から、客数もカウントした計算になる。

宇野委員長

ケーブルテレビ事業で加入者が4千400件との説明であるが、番組がマンネリ化して加入者が増えないとの意見もある。

寺内委員

以前にも指摘したが番組審議会に専門家を入れたらどうか。

企画情報課長

番組審議会に専門家をとの意見だが、現在の委員の任期が後1年残っているの

25年度一般会計予算

25年度墓地特別会計予算

25年度ケーブルテレビ事業特別会計予算

24年度一般会計補正予算

(第8号)

情報公開条例の改正

石川県市町村消防団員等公務災害補償等組合規約の変更

石川県市町村消防費じゅつ組合規約の変更

公の施設の指定管理者の指定

(以上8件、全員賛成)

総務常任委員会

- 委員長 宇野 順一
- 副委員長 多々見 邦次
- 委員 寺内 照雄
- 杉本 正一
- 金田 正信
- 坂井 正毅



6月供用開始予定の高松多目的施設(仮称)の増築部分(左側)

企画情報課長

クラブパレット主催の事業では48名参加。ペアとなったのが3組。

商工会青年部のボウリングを取り入れた婚活イベントでは、39名参加。ペアの

成立が2組と少数だった。

実質的な効果の検証が難しい面もあるが、今後に期待したい。

並行在来線へ、30億円の

支援が必要であるとの説明であったが、具体的な説明

# 市民文教常任委員会

## きめ細かな教育

### 小学5年生に35人学級を導入

#### おもな質疑

(所管事項含む)

高橋副委員長

県内市町で初の小学5年生にも35人学級を導入し、嘱託職員2名採用予定の予算計上となっているが、この嘱託職員とは。

また、平成26年度からは6年生まですべての学年で35人学級を実施するとの説明があったが、今後の職員採用の見直しは。

牧野学校教育課長

市独自の施策であることから、市で嘱託職員として臨時講師を2名採用するものである。

平成26年度の採用見込みは4名であり、今後5年間においても最多で4名を予定している。

安達委員長

防災士のフォローアップ

また、防災士は資格取得



35人学級の導入で1クラス増となった。(宇ノ気小学校5年4組)

自主防災組織に供給し、備蓄品は市で準備している。

それ以上の備蓄品は各地区

でお願いしたい。共助の観点から、地区での備蓄の

状況を市で把握していく。

竹内委員

予防接種助成の拡充は、

子育て支援や定住促進にも

密接に繋がっている。

予防接種の接種者負担及び

受診率は。

藤田健康福祉課長補佐

定期接種は無料であり、

任意接種は他先進市町と同

等の助成である。

受診率は、定期接種で95

〜100%近くである。

沖津委員

外日角小学校で外壁耐震

化工事実施設計が計上され

ているが、外日角及び七塚

小学校は毎年のように改修

工事が実施されている。

根本的な対応が必要では。

山越教育部長

今回は非構造物の耐震化

として外壁の耐震化を図る

ものである。

外日角及び七塚小学校は

修繕を頻繁におこなってきた

が、根本的な対応も検討

#### 審査の結果

25年度一般会計予算

25年度後期高齢者医療

特別会計予算

(以上2件、賛成4 反対1)

25年度国民健康保険特別

会計予算

25年度介護保険特別会計

予算

24年度一般会計補正予算

(第8号)

24年度国民健康保険特別

会計補正予算(第1号)

24年度後期高齢者医療特

別会計補正予算(第1号)

24年度介護保険特別会計

補正予算(第2号)

新型インフルエンザ等

対策本部条例の制定

生活安全条例の改正

議員その他非常勤の職員

の公務災害補償等に関する

条例及び障害程度区分

認定審査会の委員の定数

等を定める条例の改正

社会教育委員設置条例の

改正

体育施設条例等の改正

保育所条例の改正

学童保育クラブ条例

の改正

デイサービスセンター

条例の改正

介護保険条例の改正

(以上15件、全員賛成)

市民文教常任委員会

- 委員長 安達 肇
- 副委員長 高橋 成典
- 委員 別宗 明敏
- 西田 正剛
- 竹内 幹雄
- 沖津 千万人

おもな質疑

荒井委員

「道の駅・高松」改修工事に併せて、車が直接海岸まで行けるように工事ができなにか。

瀬戸産業振興課長

築造には膨大な費用がかかるため、これまで通り維持修繕で考えている。

杉本委員

宇気23号線の開通に伴って、横山交差点が危険であるが、信号機設置の要望は行ったのか。

蔵谷都市建設課長

すでに要望は行っているが、県からの返事待ちの状態であり、現在赤色灯を設置して事故防止を図っている。

荒井委員

高松交通公園の改修工事は遊具を設置するのか。

都市建設課長

子どもたちに交通ルールを学んでもらうことを目的として作られた公園であり、遊具などは設置せず、ライオンや照明灯を更新する。

多々見委員

幼児や児童に交通ルールを解ってもらうために説明板の設置はできないか。

都市建設課長

市民生活課と協議して検討する。



リニューアルし、充実した特産品売場（道の駅・高松）

杉本委員

公営住宅維持管理事業で住み替えが完了した住宅跡地の利用計画はあるのか。

都市建設課長

住み替え完了後、順次解体を行っていく予定であるが、跡地の利用計画はまだない。

猪村委員長

観光振興対策事業でイベントなどで配る「にやんたろうバス」のペーパークラフトはホームページに掲載しないのか。

南産業振興課長補佐

ダウンロードもできるように計画する。

遠田委員

都市公園を夜間警備委託しているが、防犯カメラなどでの措置はしないのか。

都市建設課長

現在、七塚中央公園、しらゆり公園、水辺公園で行っ

ているが、防犯カメラでは起きてしまつてからの手立となるが、巡回体制とすることで声掛けや、意識付けもできるため、この方法がよいと考えている。

遠田委員

消費維持管理事業で電気ポンプなどの点検はどのように行っているのか。

都市建設課長

市内に103カ所の井戸があり、4年から8年を寿命と考え、年に5カ所から6カ所を順次改修している。

●25年度下水道事業特別会計予算  
●25年度水道事業会計補正予算（第7・8号）  
●24年度下水道事業特別会計補正予算（第4号）  
●24年度水道事業会計補正予算（第2号）  
●市道の構造の技術的基準等を定める条例の制定  
●移動等円滑化のために必要な市道の構造に関する基準を定める条例の制定  
●商工業振興条例の一部改正  
●産業文化センター条例の改正  
（以上13件、全員賛成）

審査の結果

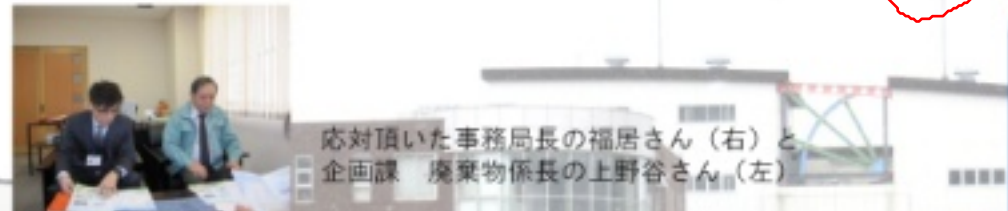
- 25年度一般会計予算
  - 25年度市営バス事業特別会計予算
  - 25年度大海財産区特別会計予算
- 産業建設常任委員会  
委員長 猪村 博靖  
副委員長 金子 猛  
委員 杉本 成一  
荒井三喜雄  
多々見 武  
遠田 順

知ってる？知らない？ゴミの事

「河北郡市広域事務組合」

「議員が走る」。今回は猪村と安達の担当。河北郡市リサイクルプラザ「エコみらい河北」を訪問しました。

議員が走る



対応頂いた事務局長の福居さん（右）と企画課 廃棄物係長の上野谷さん（左）

猪村、安達とも、これが二度目の担当。いろいろ考えあぐねた末、これだ！と訪ねたのが河北郡市広域事務組合。様々な廃棄物を処理する施設は圧巻。中でもリサイクルプラザ「エコみらい河北」は体験型学習ができる優れ物。

訪問して最初に感じたのは明るさ。建物自体もガラスを多用したモダンな造りです。正面玄関を入るとシンボルオブジェが配されたエントランスホールが広がります。中央には大型テレビが設置され、ゴミ処理の流れを映像を使ってわかりやすく解説しています。すぐ横にはリサイクル工房があり、古本や、古着が無料で提供されます。また定期的に廃品を修理したり、リサイクル品の販売会も開催されます。まず、大変お忙しいにもかかわらず、福居局長さんと上野谷係長さんから施設の見学、概要などを説明いただき、その後、施設をつぶさに案内いただきました。2階は大きく学習ゾーンと工作室、シアタールームに分かれています。学習ゾーンでは映像を見ながら、ゴミ減量化やリサイクル、ゴミの出し方など



エントランスホール



古着・古書コーナー



工作室



ガラス細工の所

が学べます。シアタールームでは大画面を使って施設の紹介や、見学者が参加できるクイズなどが行われます。そして工作室。これがなかなかのもので、溶かしたガラスをふくらませてコップを作る吹きガラス体験。卓上パーナーで作る携帯ストラップ、ガラスを吹き付けて絵を描くサンドブラストなどが体験できます。皆さんも一度参加されてはいかがでしょうか。この他3階には研修室や会議室も完備しており、充実した施設となっています。さて、施設の説明、見学を終えたあと、ゴミの処理について詳しく勉強しました。ここでは平成23年度の実績で2万2千tを超える普通ゴミをはじめとして、分別、容器包装、埋め立て、粗大、資源、食用油など様々なゴミを処理しています。



生ゴミに混入していた金属塊

最後に一言。津幡町、内灘町と比較すると、総量、一人あたりともかほく市が一番多くのゴミを出しています。処理費用は税金でまかいます。分別も大事。加えて減量化にも是非ご協力ください。

意外に知らなかったゴミの話。かほく市のゴミ量がトップと聞いてびっくり。みなさん、勉強も兼ねて一度訪れてみませんか？

# 議会基本条例の概要

※全文は市ホームページの市議会コーナーで公開しています。

(<http://www.city.kahoku.ishikawa.jp/>)

## ◆ 市民に開かれた議会をめざして

### 【全文・第1章 総則】

#### 第1条（目的）

二元代表制の下、議会に関する基本的事項を定めることにより、市民が安心して生活できる豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的と定めています。

## ◆ わかりやすい議会、代表としてふさわしい活動を行います

### 【第2章 議会及び議員の活動の原則】

#### 第3条（議会の活動の原則）

議会は、市民の代表機関であることから、「市民の多様なニーズを把握し、市政及び議会の運営に反映。また、市民に開かれ、かつ、分かりやすい運営をしなければならない」と定めています。

#### 第4条（議員の活動の原則）

議会が言論の場であること及び合議制機関であることを十分認識し、議員間の自由な討議を重んじ、市政の課題全般について、市民の意見を的確に把握するとともに、自己の能力を高める不断の研鑽によって、市民の代表として活動しなければならないと定めています。

## ◆ 市民の声をしっかり受け止めます

### 【第3章 市民と議会の関係】

#### 第8条（情報及び会議の公開）

すべての会議を原則として公開としています。

#### 第9条（市民の参画及び市民との協働）

市民との意見交換の場その他の市民参画の機会を設けるとともに、市民との協働を推進すると定めています。

## ◆ よりよい政策実現のために

### 【第4章 議会と行政の関係】

#### 第11条（議員と市長等執行機関の関係）

論点又は争点を明らかにするため、一問一答の方式で行い、市長等も議長等の許可を得て反問することができると定めています。

※その他【第5章 委員会の活動】、【第6章 政務活動費】、【第7章 議会の機能向上及び体制の整備】、【第8章 議員の政治倫理、定数及び議員報酬】、【第9章 最高規範性と見直し手続】などを定めています。



# 議会基本条例を制定

## 市民に開かれた議会運営を約束します

写真：議会基本条例(案)を議長に答申

今定例会において「かほく市議会基本条例」を議員発議により提案し、全員賛成で可決、5月1日から施行されます。

よる自治のさらなる推進に向け、条例」について現議員の任期中に制定を図るべく調査を開始し、以降スケジュールに基づき条例の策定作業を行なってきました。本定例会に条例案を提出するまでの間に、委員会を7回、3分科会をそれぞれ3回開催しました。

また、本年2月1日から15日の間に条例素案を公表し、パブリックコメントを募集しました。

### ○ 議会改革と 議会基本条例

地方分権の進展により、地方自治体の自主的な決定と責任が益々求められる中、二元代表制の下、本市のまちづくりを進めるため、かほく市議会の役割を明らかにするとともに、議会に関する基本的事項を定めることにより、市民が安心して生活できる豊かなまちづくりの実現に寄与することを目的とするものです。

今回の議会基本条例は、開かれた議会を目指し、積極的な情報公開と説明責任、市民主権に

議会基本条例制定の検討は、平成23年7月1日設置された議

### ○ 条例制定の 経緯と経過

員定数検討特別委員会において、議会のあり方、議員定数など、議会改革を図るべく、議長を除く全議員で検討を重ねてまいりました。

○ 条例の概要  
条例は前文と9章から成る本文29条、および附則で構成されています。

委員会の名称にもあります、議員定数について、委員長より中間報告がなされ、議員発議として、18名の定数を15名とする議員定数条例が制定されました。

その後、兼ねてより、懸案として出されていた、「議会基本

前文は、本条例の制定背景と市民主権による自治の推進に向け、市民の付託に応えていくことの決意をうたっています。